事　業　名	期　日	場　　所
第７回 NFS 杯全日本鮎釣り選手権大会	７月 27-28 日	後志利別川・東部 ふれあいホール

活　動　内　容

北海道では初となる、全国的にも名高い NFS 杯全日本鮎釣り選手権大会が、後志利別川で開催されました。これまでに全道大会が３年間おこなわれ、昨年、ノジマ・フィッシングスクールの野嶋玉造理事長から本大会のお話を伺い楽しみにしていたところです。

野嶋理事長は、この世界では、鮎の友釣りを始めて４０年のキャリアを持ち、２００３年日本記録となる３３．５ｃｍ５００ｇの巨鮎を熊本県球磨川で仕留める　今尚鮎釣り界の巨匠として

崇められる反面　釣り業界全ての後身の育成及び川作りにも全力を注いでいる方でお弟子さんは５０万人に及ぶとも言われております。

生憎、河川のコンデション豪雨によりすっかりアカも飛び、高水の影響で大会開催も危ぶまれる河川状況でしたが、そこな経験のある道内各地や遠く群馬県、埼玉県から駆けつけたＮＦＳ会員 33 名と一般参加２名の総勢 35 名がＡ・Ｂ・Ｃの３ブロックに分かれて入川しました。予選ラウンドでは、最高釣果 16 匹の選手もおりましたが、天然鮎遡上100%の河川ゆえ自然環境に左右される難しいとされていました。上位 16 名が決勝ラウンドにコマを進め、決勝ラウンドのエリアには新花石橋下流の瀬を使用しおこなわれました。結果は、１位　高山昇（埼玉）５匹、２位　小野田典彦（札幌）４匹、３位　黒田克保（札幌）４匹　ということでした。是非、今後もこのご縁から後志利別川での鮎釣りを楽しんで頂きたく来町をきたいするところです。お疲れ様でした。



